

大分中央地域ビジョン会議 通信

第4号

発行：大分中央地域ビジョン会議事務局

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行しております。

地域の皆さんにアンケートを実施いたします。

これまで市内 13 地域において、地域の代表者等で構成する『地域ビジョン会議』を設置し、将来のまちづくりに向けた議論を深めるなか、地域の目指すべき将来像やその実現に向けた取組事業案がまとまりましたのでお知らせします。

将来像・取組事業案について地域の皆様にもご意見をうかがいながら、「大分中央地域まちづくりビジョン」をとりまとめてまいります。

大分中央地域の将来像（まちづくりのコンセプト）

歴史・文化と商都のにぎわいが融合する回遊性の高いまちを、幅広い世代・地区で育む中央地域

地域全体の回遊性を高め、よりにぎわい・活力あるまちを地域住民一体となり、育んでいこうという思いで将来像を決定しています。

アンケート調査について

◇上記地域の将来像（まちづくりのコンセプト）とその実現に向けた取組事業案（次頁からの一覧）について、「大分中央地域まちづくりビジョン」として、将来のまちづくりに向けた提言をとりまとめるため、地域にお住まいの皆様のご意見を募集しています。

将来像や取組事業案に対するご意見等をお知らせください。

＜回答方法＞①または②いずれかの方法でお知らせください。

- ①大分中央公民館に備え付けのアンケート用紙にご記入のうえ、回収 BOX に投函
- ②大分市ホームページの「パブリックコメント」から応募専用フォームで回答

＜受付期限＞ 平成30年4月16日（月）まで

※アンケート回答フォームへのアクセスは、
右記 QR コードも利用できます。



【QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。】

※ご意見をいただく「取組事業一覧」は次頁より記載しています。

【取組事業案】

【提言の核となる3つのキーワード】

1. 地域全体の回遊性の向上 2. コミュニティの深化 3. 安全・安心なまちづくり

1. 地域全体の回遊性の向上

本地域は、住民だけでなく、通勤・通学者や観光客など様々な人が行き交う地域です。また、中心市街地、大友氏遺跡や大分城址公園を含む歴史観光ルート、碩田学園や公設地方卸売市場を含む地域全体の回遊と、多様な回遊ルートが存在するため、だれもが地域全体の回遊性が高いと感じる快適なまちづくりが求められます。

①回遊性の向上のためのルート整備

1. 周遊観光ルートの整備
大分城址公園・大友氏遺跡を結ぶ周遊観光ルートとして、遊歩公園及び開通した中島錦町線を活用する。そのためには、分かりやすい彫刻の案内等の設置や、公園内の遊歩道・トイレの整備等を行い、安全で楽しく散歩ができる環境をつくる。また、合わせて、外堀西尾線を整備することで祝祭広場ヘルートをつなげる。
2. 鉄道残存敷の活用
大分駅から大友氏遺跡までを歴史・文化に触れられ、徒歩だけでなく自転車も可能な回廊とする。
3. 歩いて楽しいまちづくり
大分駅～鉄道残存敷～大友氏遺跡～大分城址公園をめぐる遊歩道や自転車道など、大分の歴史に触れる散策ルートとしての整備し、また、公募等により、親しまれるルート名をつける。
4. バランスのとれたまちづくり
狹隘道路の解消など都市基盤をバランスよく整備する。

②拠点となる施設の整備

1. 遊歩公園の整備・活用
遊歩公園はまちなかの主要な動線に資するべきものであり、また、歴史・文化的な背景を持ち合わせた公園である。現在は、インフラ整備ができておらず公園がうまく活用されていないため、構造面も含め抜本的な検討をする必要がある。
2. 大分城址公園の整備・活用
歴史・文化を伝える観光の拠点として整備・PRを行う。大手公園との一体的な利用も検討する。
3. 大友氏遺跡公園の整備・活用
来街者だけでなく地域住民も歴史が学べる施設として整備・活用する。
4. 祝祭広場の整備・活用
地域住民と来街者が集う広場として整備し、にぎわいや地域交流の拠点とする。
5. 荷揚町小学校・中島小学校跡地の利活用
荷揚町小学校跡地を民間活力も活用した複合施設に整備する。 中島小学校跡地に、子どもも高齢者も利用でき、屋内外で遊べる総合運動公園を整備する。
6. 公設地方卸売市場の利活用促進
生鮮食品等の流通拠点であり、広大なスペースを持つ市場のメリットを生かして、民間活力も活用しながら、水産部門の市民感謝デーの復活等イベントや広報事業を行い、地域北部にもにぎわいを創出する。
7. 観光施設の誘致
子どもの育成に寄与し、収益性確保もでき観光目的にもなるような魅力的な歴史・文化学習施設を、低未利用地等に誘致する。

③回遊ルートの活用

1. 歴史・史跡を生かした観光の促進
古代の豊後国府、中世は大友氏、近世は府内城と、地域内にさまざまな時代の歴史・文化が存在する。それらを分かりやすくストーリー化し、観光ルートとして紹介・多言語での情報発信を行う。
2. 歴史・史跡を生かした観光ツアー
官民一体となった受入体制をつくり、市の名所・史跡を巡るツアーを実施する（県外観光客・インバウンドも対応）。合わせて、ボランティアガイドを育成する。

2. コミュニティの深化

地域住民の交流を深めることで、コミュニティの活性化が必要です。特に、若者を巻き込んだ取組を進めることで、次世代を担うリーダーを育成することが重要です。

①多世代交流にむけた取組

1. 荷揚町小学校・中島小学校跡地の活用（※再掲）

荷揚町小学校跡地を、中央公民館機能や子どもルーム等に利用できる複合施設に整備し、地域交流の場とする。
中島小学校跡地に、子どもも高齢者も利用できる総合運動公園を整備する。

2. 若者が地域行事に参加できる体制づくり

「青年部」などの肩書をつけることや、「全市一斉ごみ拾い」などへ学校と連携しての参加の呼びかけ等を行い、必然的に参加する仕組みと雰囲気をつくる。

3. 地域の伝統行事の活用

校区・世代間の交流やにぎわいの創出に、伝統行事を活用する。たとえば、個別に実施している蛭子祭について、実行委員会を設立し「六蛭子祭」として復活させ、商業施設とも連携したイベントへ広げる。また、イベント実施には祝祭広場を活用して地域内外に発信する。

4. 史跡サポーターの育成

古墳や大友氏遺跡など豊富な史跡があるので、子どもに歴史を教え、子どもが案内できるような環境をつくる（外国人観光客にも対応できるように）。

5. 子ども食堂の運営

校区ボランティアを中心として校区社協・自治会等が連携し、食堂の運営のほか読み聞かせ等のイベントを実施し、子どもも運営に参加してもらおう。子どもだけでなく一人暮らしの高齢者等も交え多世代の交流を深める。

②次世代の地域リーダー育成

1. 次世代の地域リーダー育成

地域リーダーとなるにはまず地域に入ることが重要なので、親子で森の散策など、若い人や子どもを対象とした地域行事を増やし、参加を促進することできっかけをつくる。

小学校高学年・中学生・高校生を対象として、校区単位で地域の魅力・課題発見ワークショップを開催する。

3. 安全・安心なまちづくり

にぎわいと活力ある地域は、誰もが安心して暮らせる安全で安心な社会が下支えとなって成り立つものです。地域の防災組織体制を強化し、避難場所の整備をするなど、万が一の災害時に対応できる環境づくりが求められます。

①子どもを中心とした防災・防犯体制の強化

1. 防災・防犯意識の向上

ホルトホールなどを利用して地域・行政一体となって全市一斉防災訓練を行い、子どもと一緒に避難場所の確認等を行う。
合わせて、防犯の知識を学ぶ取組を行う。

2. 災害情報の共有システムづくり

災害情報などを行政、地域、学校、保護者が共有できるシステムを構築する。

3. 若い防災リーダーの育成

高齢者のみが防災訓練や計画を行っているため、地域と行政が連携して、高齢者と小学生と一緒に地域を回るなど、若い人の参加を促進する活動を行う。

②防災施設・ルートの整備

1. 荷揚町小学校・中島小学校跡地の活用（※再掲）

荷揚町小学校跡地を、中央公民館機能等のほか防災機能も有した複合施設に整備する。
中島小学校跡地に、避難場所としての活用も見据えた総合運動公園を整備する。

2. 避難しやすいルート整備

子どもたちの登下校中に津波警報が発表された場合等、緊急の避難をスムーズに行うため、避難所・津波避難ビルおよび避難ルートの整備を行う。